

2014年度 再資源化等業務の実績

公益財団法人 自動車リサイクル促進センター
再資源化支援部

【2014年度の使用済自動車再資源化等の概要】

【期間】 2014年4月1日～2015年3月31日

< 自動車メーカー・輸入業者からの受託業務の再資源化量等の実績 >

フロン類は、前年実績20.5千台より2.6千台減の17.9千台を処理した。

エアバッグ類は、前年実績20.0千台より2.3千台減の17.7千台を処理した。

ASRの引取台数は、前年実績22.0千台より3.1千台減の18.9千台を処理した。重量にして4.7千トンであった。

◆ 再資源化等契約状況

コード	契約者の氏名又は名称	契約締結年月日
013	株式会社 光岡自動車	2004年10月1日
015	トヨタ車体 株式会社	2013年11月1日
016	GLM 株式会社	2015年 1月1日
602	株式会社 オートレックス	2004年10月1日
603	株式会社 オートリーゼン	2004年10月1日
604	オートトレーディングルフトジャパン 株式会社	2004年10月1日
611	ゼネラルモーターズ・ジャパン 株式会社	2004年10月1日
612	現代自動車ジャパン 株式会社	2004年10月1日
614	チェッカーモータース 株式会社	2004年10月1日
615	エルシーアイ 株式会社	2004年10月1日
618	ニコル・レーシング・ジャパン 株式会社	2004年10月1日
621	ポルシェジャパン 株式会社	2004年10月1日
622	ルノー・ジャポン 株式会社	2004年10月1日
623	ロールス・ロイス モーターカーズ リミテッド	2004年10月1日
631	フェラーリジャパン 株式会社	2008年 7月1日
632	ワイ・エンジニアリング 株式会社	2008年12月1日
633	株式会社 RTC	2009年 6月1日
634	FCAジャパン 株式会社	2009年 9月1日
635	ブレイントレーディング 株式会社	2010年 6月1日
636	ピーシーアイ 株式会社	2010年10月1日
637	テスラモーターズジャパン 合同会社	2011年 2月1日
638	マセラティジャパン 株式会社	2011年 1月1日
639	株式会社 キャロッセ	2011年12月1日
640	株式会社 アルテガジャパン	2012年 1月1日
641	マクラレン オートモーティブ アジア プライベート リミテッド	2012年 5月1日
642	スカニアジャパン 株式会社	2012年 8月1日
643	エスシーアイ 株式会社	2014年11月1日
700	株式会社 加藤製作所	2004年12月1日
701	株式会社 小松製作所	2004年12月1日
702	東邦車輛 株式会社	2004年12月1日
703	コベルコクレーン 株式会社	2005年 3月1日

◆ 自動車メーカー・輸入業者からの受託業務の再資源化量

品目	項目		2014年度	2013年度	
フロン類	引取重量	CFC引取重量	60 kg	67 kg	
		HFC引取重量	4,875 kg	5,640 kg	
		合計引取重量	4,935 kg	5,707 kg	
	引取台数	CFCの引取台数	286 台	280 台	
		HFCの引取台数	17,639 台	20,202 台	
		合計引取台数	17,925 台	20,482 台	
エアバッグ類	引取個数	回収個数 ※1	9,967 個	10,904 個	
		作動個数 ※2	81,979 個	86,849 個	
		合計個数	91,946 個	97,753 個	
	引取台数	回収台数	2,605 台	2,887 台	
		作動台数	14,784 台	16,736 台	
		一部回収／一部作動台数	305 台	355 台	
		合計台数	17,694 台	19,978 台	
	引取重量	引き取ったガス発生器の重量	6,873 kg	7,260 kg	
	ASR	引取台数	引き取った使用済自動車台数	18,888 台	22,033 台
		引取重量	引き取ったASRの重量	4,684 t	5,477 t

< 並行輸入車等の再資源化量等の実績 >

フロン類は、前年実績4.2千台より0.1千台減の4.1千台を処理した。

エアバッグ類は、前年実績4.8千台より1.1千台減の3.7千台を処理した。

ASRの引取台数は、前年度14.1千台より4.0千台減の10.1千台を処理した。重量にして2.7千トンであった。

これら三品目を処理するために要した費用は、前年実績1億8,049万円より4,279万円減の1億3,769万円となった。

資金管理法から払い渡しを受けた預託金総額は、1億7,646万円であったことから、3,877万円の黒字となった。

◆ 並行輸入車等の再資源化量

品目	項目		2014年度	2013年度	
フロン類	引取重量	CFC引取重量	66 kg	85 kg	
		HFC引取重量	984 kg	1,066 kg	
		合計引取重量	1,050 kg	1,151 kg	
	引取台数	CFCの引取台数	413 台	457 台	
		HFCの引取台数	3,723 台	3,711 台	
		合計引取台数	4,136 台	4,168 台	
エアバッグ類	引取個数	回収個数 ※1	1,448 個	2,778 個	
		作動個数 ※2	18,373 個	19,867 個	
		合計個数	19,821 個	22,645 個	
	引取台数	回収台数	522 台	1,118 台	
		作動台数	3,122 台	3,530 台	
		一部回収／一部作動台数	61 台	103 台	
		合計台数	3,705 台	4,751 台	
	引取重量	引き取ったガス発生器の重量	897 kg	1,495 kg	
	ASR	引取台数	引き取った使用済自動車台数	10,050 台	14,073 台
		引取重量	引き取ったASRの重量	2,667 t	3,570 t

◆ 収支

品目	項目	2014年度	2013年度
フロン類	払い渡しを受けた再資源化等預託金の総額	9,100,764 円	9,364,166 円
	破壊に要した費用の総額	7,246,909 円	7,526,917 円
	収支	1,853,855 円	1,837,249 円
エアバッグ類	払い渡しを受けた再資源化等預託金の総額	14,516,687 円	17,168,695 円
	再資源化等に要した費用の総額	8,499,765 円	10,726,902 円
	収支	6,016,922 円	6,441,793 円
ASR	払い渡しを受けた再資源化等預託金の総額	152,843,333 円	191,540,783 円
	再資源化等に要した費用の総額	121,941,291 円	162,233,032 円
	収支	30,902,042 円	29,307,751 円
三品目合計	払い渡しを受けた再資源化等預託金の総額	176,460,784 円	218,073,644 円
	再資源化等に要した費用の総額	137,687,965 円	180,486,851 円
	収支	38,772,819 円	37,586,793 円

< 再資源化の実施状況 >

エアバッグ類の再資源化は、引き取ったガス発生器重量が7.8千kgであり、再資源化率は93.8%であった。前年度の再資源化率93.9%に対して、0.1ポイント下がったものの、基準値である85%を超える結果となった。

ASRの再資源化は、引き取ったASR重量が7.4千トンであり、再資源化率は97.5%であった。前年度の再資源化率97.1%に対して、0.4ポイント向上し、2015年の基準値である70%を超える結果となった。

◆ 再資源化率

品目	項目	2014年度	2013年度
エアバッグ類	引き取ったガス発生器の重量 ①	7,770 kg	8,755 kg
	引き取ったガス発生器で再利用できる状態にした重量 ②	7,292 kg	8,222 kg
	エアバッグ類再資源化率 ※3	93.8 %	93.9 %
ASR	引き取ったASRの重量 ③	7,350 t	9,047 t
	ASRリサイクル施設へ投入したASR重量 ④	7,350 t	9,047 t
	ASRリサイクル施設で生じた当該ASR由来の排出残さ重量 ⑤	184 t	263 t
	ASR再資源化率 ※4	97.5 %	97.1 %

※1 車体からエアバッグを取り外して、インフレーターを回収し、再資源化施設にてリサイクルする方法

※2 車体に取り付けたままエアバッグを展開しリサイクルする方法

※3 エアバッグ類再資源化率 = 引取ガス発生器再利用重量(②) / 引取ガス発生器重量(①)

※4 ASR再資源化率 = $\frac{\text{リサイクル施設投入ASR重量(④)} - \text{排出残さ重量(⑤)}}{\text{引取ASR重量(③)}}$

以上